

# 「コンサ百年の森づくり」2012年度事業報告

## ＜事業経過＞

コンサドーレ札幌は未来の子供たちに豊かな緑を残すため「コンサ百年の森づくり」を2008年6月にスタートしました。2004年9月の台風18号によって甚大な風倒被害を受けた支笏湖周辺国有林のうち、11.63ヘクタールを対象に植林活動を行い、失われた森の復興を目指しております。2008年度から2010年度までに7,700本の植樹を行いました。

また、2009年度から小学生を対象とした「森の教室」を開催しています。カミネッコン作りや森の仕組みについての授業を行い、森や自然、環境についての理解を深める活動を展開しています。

### ＜カミネッコンとは＞

北海道大学名誉教授で、森林空間研究所を主宰する東三郎さんが1997年に考案した、再生紙や古紙を素材にした植栽用の紙ポットです。

再生ダンボールを使った組み立て式ポットで、これに培養土と苗木を入れて少し育て、森をつくりたい場所に置くだけです。地面を掘ったり、面倒な世話などはしなくてよいものです。ポットはやがて風化してなくなり、数年後には小さな森ができあがる仕組みです。

## ＜事業内容＞

○実施主体 コンサ百年の森づくり実行委員会（札幌市豊平区羊ヶ丘1番地）

### ○活動の構想

コンサドーレ札幌の選手、サポーター、スポンサー、株主、小学生等による、植樹など森づくり活動の体験や自然観察会などの学習「森の教室」を通じて地球環境保全意識を高める。

○植林対象地 石狩森林管理署 千歳森林事務所 5460林班  
(モーラップスポーツ林東側、水明林道付近一帯。支笏湖ビジターセンターから約2.5km)

○植林予定面積 11.63ヘクタール

○活動協力団体 NPO 法人 北海道森林ボランティア協会

### ＜森の教室について＞

小学生を対象とした森の教室は、事前授業としてカミネッコンによる苗木づくりをします。児童たちには、出来上がったカミネッコンに思い思いのメッセージを書き入れてもらいます。その後、出来上がったカミネッコンをコンサ百の森へ運び、植樹会を実施します。石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、森の機能や環境について学習します。

### ○講習内容 約1時間

- ・森の環境について 講師：石狩森林管理署、北海道森林ボランティア協会
- ・カミネッコン作成 参加児童全員
- ・コンサドーレ札幌選手との交流  
(森の教室は約1時間、その後選手と写真撮影、バス移動中に交流)

## ≪2012年度「コンサの森づくり」≫

- 8月 植樹部分の除草刈り（森林ボランティア協会スタッフのみなさん）
- 8月23日 「森の教室」の開催（千歳市立桜木小学の児童）
- 10月 補植（森林ボランティア協会スタッフのみなさん）

## ＜2012年度「森の教室」＞

- 日時 2012年8月23日（木）
- 植林対象地 石狩森林管理署 千歳森林事務所 5460林班
- 参加児童 千歳市立桜木小学校3年生約70名
- 実施内容

現地に石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、千歳市立桜木小学校3年生約70名の児童を対象に開催いたしました。

初めに森の仕組みについてのお話を聞き、森林や自然、環境について学びました。カミネッコンを段ボールの型紙から作って苗木づくりを行い、出来上がったカミネッコンを植樹しました。

また、コンサドーレ札幌の2名の選手（前選手・小山内選手）とマスコットのドーレくんも参加し、児童達と一緒に取り組みました。

参加した児童達は、「初めて体験しました。楽しかったです。」「森についてとても勉強になりました。また開催してください。」「選手と一緒に参加できて、嬉しかったです。」など、喜びと感謝の感想を聞くことができました。

児童の移動には選手が普段移動時に使用しているコンサドーレバスを利用し、学校から会場への移動に利用しました。また、帰校のバスの中では選手との交流を行いました。

今回は児童の意識や取り組み方が、選手と一緒に参加することによって向上していたと感じました。これからも「森の教室」を通して、北海道内の子供達へ森林や自然環境についての理解を深める取り組みを実施していきます。

## ≪『コンサ百年の森づくり』が「生物多様性の保全のために」できること≫

『コンサ百年の森』は、支笏洞爺国立公園内の支笏湖畔近隣に位置しております。この地区は、2004年9月の台風18号によって甚大な風倒被害で多くの倒木が発生しました。この地区における植樹活動は、各々の生態系の中で相互に影響しあっている生物多様性の保全回復に必要かつ、繋がるものと確信します。継続的な植樹活動が、地球温暖化を防ぎ、生物多様性の保全になると考えております。

『コンサ百年の森づくり』の活動は、北海道唯一のJリーグのクラブチームであるコンサドーレ札幌を応援するサポーターをはじめとして、スポンサー、株主、一般市民、小学生たちに向け、コンサドーレ札幌のホームページ、試合プログラム、月刊誌などを通して継続的な植樹活動及び森の育成の必要性につき、広く告知しております。

このように、広く一般市民及び市民団体などの参加・協力に基づく活動の継続的展開は、それらの多くの人々が、湖畔の森で植樹活動に参加し、自然に触れ合うこと、森の教室として自然観察を行うことで、森の機能を学ぶということに通じ、そのことが生物多様性を憩いの場、教育の場として利用できるという意味で、少なからず恩恵を受けていると考えます。

コンサドーレ札幌のマスコットキャラクター「ドーレくん」は、絶滅危惧種のシマフクロウをモチーフとしております。『コンサ百年の森づくり』が、その名の通り、継続的に森の育成活動を続け、いずれはシマフクロウも生息できるような森の育成を願って、ひいては、それが生物多様性に貢献できることを願っております。



# 平成24年度 収支計算書

(単位：円)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
<b>I 経常増減の部</b>		
1. 経常収益		
(1) 寄付金収入	100,000	
(2) 受取利息	82	
経常収益計	100,082	
2. 経常費用		
(1) 事業費		
① 植樹活動費	285,470	技術協力費、森の教室
(2) 管理費		
① 支払手数料	1,260	
② 租税公課	16	
経常費用計	286,746	
当期経常増減額	△ 186,664	
<b>II 経常外増減の部</b>		
1. 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
2. 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期正味財産増減額	△ 186,664	
正味財産期首残高	461,676	
正味財産期末残高	275,012	

# 平成24年度 貸借対照表

(単位：円)

平成25年3月31日現在

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
(1) 現金	0	
(2) 預金	275,012	
流動資産合計	275,012	
資産合計	275,012	
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債	0	
流動負債合計	0	
負債合計	0	
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 一般正味財産	275,012	
正味財産合計	275,012	
負債及び正味財産合計	275,012	